

めざせ 100周年



OB会会長 22期 黒崎 敏男

今年9月15日開催の総会において会長に就任しました黒崎です。

先輩方から引き継いだバトンを受け取り、微力ですが会のために全力を尽くしますので、これから5年間どうぞよろしくお願いいたします。

表題の言葉は懇親会冒頭の挨拶の中で述べさせて頂いたのですが、自分たちの期は昭和33年（1958年）生まれで、奇しくも金大ワングル部創部の年であったことから、自分自身が100歳を迎える年に当部が100周年を迎えることになり、それを面白おかしく表現させて頂いた次第です。

人生100年時代を踏まえれば、自分が100周年記念総会・懇親会でお祝いの言葉を述べることも決して不可能ではないのではと1人妄想しています。

しかしながら、高齢化と人口減少が急速に進み、価値観も多様化している中で任意団体がそこまで長期に存在できるかは予断を許さぬところでもあります。

先輩方の情熱と伝統の灯を消すことなく次の世代にワングル部及びOB会の活動を引き継いで行くためにはこの段階でいくつかの具体的対応を開始する必要があると感じております。

こうした観点から次の5年間の重点として次の3点を掲げ、自ら率先して実行して行きたいと思います。

- ① 現役との交流の拡大と支援充実
- ② 若手・中堅OBに対する活動への誘導（特に金沢市周辺の方々）
- ③ 現在実施している活動の今後についての検討

①は事故対応や現役の負担軽減を目的に、今回の総会において提案があり承認を得たところの「現役活動支援寄付金」の積立継続、一般会計からの支援金の確実な実施、さらには懇親会や小屋作業等への参加呼びかけを通じ現役時代からOBと顔なじみになるような取り組みを継続することで対応します。

②は若手・中堅OBに小屋作業等のOB会活動への参加を幅広く周知し、無理のない範囲でOB会活動に加わって頂き、将来の役員候補としてOB会運営に興味を持つ方を1人でも多くするような試みをしたいと思います。

③は実施中の小屋修繕、高三郎登山道整備、さらには会報「やまざと」発行といった継続中の各活動について今後も同様に行えるか、行う場合はどうすれば可能か、見直す場合はどうあることがふさわしいかといった観点で様々な機会に多くの会員の皆様のご意見を伺ってみたいと思います。

おそらく、在任期間中にすべてに明確な結果を出すことは難しいとは思いますが、少なくとも次期における改革につなげるよう努力します。